

鉄シリーズ 幌車組み立てガイド

2023/07 版

>用意する工具部品

ニッパー

M2x3mm～6mm くらいのねじ(台車固定用)

カプラー・スプリング カプラー

各種塗料・サーフェイサ(後述)

(あったほうがいいもの)

デザインナイフ

棒やすり

M2 タップ

φ1.6mm ドリル/1.4～1.7mm でも可

瞬間接着剤固化促進剤(タミヤの小瓶)

>パーツ構成

- ・幌 ・妻面(2個/パーツ) ・床板(2個/パーツ) ※平車と共通部品
- ・台車(2個/1両分/小袋)



不足・破損等ある場合はメールにてご相談ください。

>パーツの切り離し

それぞれのパーツをベース・サポート材から切り離します。

破損しやすい箇所がいくつかありますので、注意して切断ください。

>組み立て

パーツの組み立て順は次の通りです。

- ・幌部分の組み立て→幌と台枠の組み立て→台車の取り付け

接着には、瞬間接着剤を推奨しています。

>タップをお持ちでない場合

M2 ネジの外径分のドリル(φ2.0)を用意いただき

ドリル穴に接着剤を少量流し込み、台車を付けネジを押し込み

硬化させることでロックすることが可能です。

※接着剤をゴム系、瞬間接着剤・木工用ボンドと変えることで

固定の強さを変えることができます。

または、伸ばしランナーで外径 1.6mm を狙って調整し

リベット状に止めることも可能です(分解不可)

>塗装

下地処理・塗装は各自塗りやすいタイミングで実施してください。

本製品は、洗浄および二次硬化を済ませた状態で頒布しています。

そのまま、サーフェーサーを吹くことができます。

タミヤのサーフェーサープライマーや、造形村のサフ等を使うことで十分な塗膜強度を得ることができます。

積層痕が気になる場合は、軽く 600~1000 番程度のやすりで表面を磨くとよいでしょう。

フレーム・台車部分の下回りは全体的につや消し~半艶の黒、または少し茶色みのある黒です。赤さびが回ることは稀です。

幌の色味は検査明けで明るいオレンジ～徐々に色が褪せていき黄色くなっています。

幌の端部はガルグレーくらいの灰色の鋼板がついています。

車端部は安全のため黄色に塗られており、手すり等を白で塗装されています(未表現)。



塗装見本・ホ口部分はホワイトサーフェイサー→黄橙色(下)、黄色 3 号(上)



フレーム・台車枠は NATO ブラックを作例では使用しています